

## 終了時評価の実施および第4回 JCC を開催しました

RMSD では 2015 年 8 月に終了時評価団を迎え、本プロジェクトの活動成果の達成度について評価を受けました。終了時評価団は8月7日から25日までの期間にわたり Iringa、Dodoma 州においてヒアリング調査を実施し、これまでの3年半に及び RMSD が行ってき活動の成果についてレビューを実施しました。

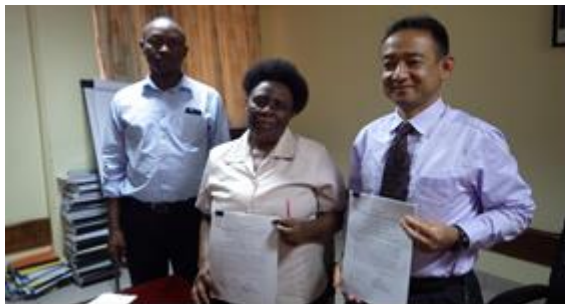
2016年3月のプロジェクトの終了に向けて、RMSD では8月24日に第4回合同調整委員会(JCC)を開催しました。今回の JCC-4 では RMSD の活動成果、達成度、課題、および今後の活動展開を見据えた活動計画（ロードマップ）について PMO-RALG の Kayanda 局長、Eng.Nanai から報告が行われ、その経験、教訓も併せて発表されました。活動の成果報告の内容は次の通りです。

- ① オペレーション・ガイドラインを作成した
- ② オペレーション・ガイドラインの普及方法として AMTC を開発した
- ③ トラクターや小型ローラーなどの LBT 用機材が供与され、機材のあることが LBT の適用を促進に貢献することが証明された

JCC に続いて、終了時評価団より本プロジェクトの終了時報告が行われました。評価団からの提言内は次の通りです。

- ① LBT 仕様書の策定支援
- ② 現在 DFID の支援で進められている DROMOS2 と呼ばれる地方道路維持管理業務システムとの業務調整
- ③ 運用ガイドラインの普及
- ④ プロジェクトが完了となる 2016 年 6 月までモニタリングの継続
- ⑤ プロジェクト完了に向けた必要な予算と優秀な人員の補強
- ⑥ 他援助機関との連携

業務完了に向けて、プロジェクトではこの終了時評価の提言を PMO-RALG を始めとしたタンザニア側と共有し、残りの活動内容に反映していく予定です。



ミニッツ（M/M）の署名（Kayanda 局長、竹内団長）



参加者の集合写真

（副総括/道路維持管理計画：徳永 達己）